

学校保健

The School Health No.160

(財)日本学校保健会

- 新春座談会
むし歯予防啓発推進事業
- 昭和60年度・叙勲者と文部
大臣表彰の受彰者
- 第35回学校保健研究大会

~~~~~  
会報をよくするため、読者のご意見を求  
めています。お葉書をお寄せください。

年頭所感

## 相互信頼と和

日本学校保健会会長 東 俊 郎

私は昭和46年4月、日本学校保健会会長に就任以来、本会が都道府県および指定都市の学校保健会から遊離した存在であってはならない、とつねづね考えている。昭和48年の機構改革では、全国の加盟団体と本会との間に血の通った連絡路をつけ、また、保健大会や保健会、そして学校でのさまざまな問題点を掘りさげて研究し、文教政策に反映させるのがその狙いであった。

幸いなことに、学校保健センター的事業が昭和48年度から国の補助金で発足し、健康度評価方法委員会をはじめ、数多くの委員会、委託事業を実施し、重要課題に取り組み現在に至った。また、全国学校保健協議大会の議を経て、児童生徒の健康安全の充実を図られるよう、臨時教育審議会に要望もした。

学校保健の充実発展は、学校保健に携わる方がたが、相互に信頼し、和をもって当り、はじめて可能となることである。今後の発展を念じ、年頭の所感とする。



曾我直庵「龍虎図屏風」(東京国立博物館)



## 新春座談会

むし歯予防啓発推進事業にみる  
学校・家庭・地域の連携

本年度の学校保健センター的事業報告会で、優れた成果を報告された埼玉県学校保健会の事例を、各市、各分野の方がたと、この推進委員会委員長の能美先生、文部省の吉田教科調査官にも加わっていただき、座談会をしていただいた。この座談会の記事が学校を中心にして、家庭と地域へ健康および安全の教育が滲透していくために参考となれば幸いである。(会報編集委員会)

## この事業の概要は

**司会** むし歯予防啓発推進事業は、昭和58年度にセンター的事業として発足しました。そして本会の委託によって11の都府県(青森、秋田、茨城、埼玉、東京、神奈川、石川、京都、愛媛、宮崎、鹿児島)で実施されてきました。その成果には見るべきものがありますが、中でも埼玉県の報告は皆から注目されたので、埼玉県のそれぞれの代表の方々にお集りいた



能美光房氏

だき、卒直なお話をさせていただくこととしました。まず最初に、この事業の音頭通りの文部省の立場から吉田先生に事業の概要をお話しいただきたい。  
**吉田** この事業は、幼稚園から中学校までを一貫した地域ぐるみのむし歯予防活動として、幼稚園や小、中学校での実践活動の充実を図ることはもちろんですが、幼児・児童・生徒を持つ保護者の啓発活動に主眼をおき、むし歯の予防効果を高めようとしているものです。ですから、むし歯予防のための保健指導のカリキュラム研究を中心とした「むし歯予防推進指定校」の歩みよりもかなりダイナミックなものになるわけですし、何よりも家庭における保護者の養育態度の変容を目指した活動といえるわけです。

## 出席者

東京歯科大学教授 (司会) 能美 光房  
文部省教科調査官 吉田瑩一郎  
蓮田市黒浜小学校PTA会長 大島 勲  
大宮市教育委員会歯科衛生士 山西 敦子  
埼玉県学校歯科部副部長 浦島 治

**司会** 補足しますと、都府県の中で、とくに3地区を推進地区に選び、その中で幼、小、中を指定校として進めています。そして父兄の啓発にポイントを置いて、学校と家庭が一丸となって活動していこうというものです。

## 各地区の実情

**司会** まず、大宮市の場合を山西さんから、組織づくりの苦心なども含めて、どうぞ。

**山西** 最初は地域啓発のとらえ方が漠然としており、踏み出すのに戸惑いを感じました。以前は学校側が一方的に資料を作ったり、通知を出したりしていたのですが、今ではPTAが中心になって広報紙をだしています。中学校ではPTAの方たちが種々の調査活動をし、細かい結果を発表しています。また、園内活動としては先日も市立幼稚園の研究保育を見てきましたが、こどもが歯科医さんと患者さんになって“ごっこ遊び”の中で大宮市が作った最初の目標、歯医者さんをこわがらないの意識化を取り上げていました。また、4歳児では歯のみがき方をゲーム化していたり、5歳児では歯と栄養の関係を、どういう食べ物がいいか、食べもののお面をつけた遊びの中の保育に取り入れ進めており、大へんそれが大宮市の実情にあったものなので感激しました。

それから中学校の研究授業では、教師が非常に勉強しているのに感心させられました。

**司会** 蓮田市の場合を父兄の立場からどうぞ。

**大島** PTAの中に保健部を設置し、10人程の役員が中心となって、年4回の広報紙を出しています。内容は、アンケート調査、ポスター、カレン





ダーなどですが、誰もが興味を引くよう、そしてわかりやすく工夫しています。また、大きな発泡スチロールで歯の模型を作り、むし歯になり易いところを研究し集会で説明しています。

状況調査では、57年の処置率は77%でしたが、59年80.2%、60年81.2%とあがっています。

**司会** 秩父市の場合と、県全体をふくめて、…

**浦島** 埼玉県では、第1年次において、「埼玉県むし歯予防啓発推進委員会」を結成し、関口恵造県歯科医師会長を委員長として、事業目標、努力目標、計画等を立案し、三地区との連絡調整等を実施し、「実践事例集第一集」を作りました。二年次に入り、県むし歯予防啓発推進委員会や推進三地区の代表者を含めた合同委員会を開催し、三地区の実践活動状況等を発表していただき、連絡調整を行い、努力目標に向かって展開された特色(三地区の)が「実践事例集第二集」に掲載されています。現在は、三年間努力した結果を発表して



吉田 瑩一郎氏

たく報告会の開催、「むし歯予防啓発推進事業」の足跡を「実践事例第三集」に残す準備を進めています。

秩父市の場合、秩父第一中学校を中心校に選び、その校区の幼稚園、小学校を中心校に指定しました。発足と同時に、中心校、推進校の関係者に事業の目的と、学校歯科保健の推進についての講演

を吉田先生にしていただき、教育委員会、市PTA連合会の強力なバックアップもあり、また、現場の先生方にも理解していただき、指導計画にもとづいた指導に非常に工夫が見られています。

この推進事業発足当時、吉田先生の「なるべく歯科医が前に出ない方がよい」との助言があり、できるだけ現場の先生と父兄を中心に活動を進めています。各学校の歯科校医さんも委員会へは参画しているがアドバイスをするというふうな形にしています。

この事業の成功したことの一番の要因は、秩父市の教育委員会が積極的に取り組んでくれたことです。そして各学校の教職員も真剣に活動してくれたことが大いに力があつたと思います。

**吉田** こういうことは、とかく上からやらされている、というふうには受けとめられ勝ちとなります。ところが、今度の推進地区には、父母が主体的に自分のこととして取り組んで下さったことで、大きな成果が上がったものと考えられます。また、学校も教育活動の一環として重視し指導に力を入れました。歯科医もアドバイザーの立場をわきまえ、この事業を支えて下さったことがよかったのだと思われま

特に、中学校では、なかなか、こういう教師活



大島 勲氏



動には取り組みにくい条件があるのですが、幼、小、中一貫して、その気になって活動したということは、ほんとうに素晴らしいことだと思います。こういうことが教育の実践の基本である、ということに関係者全員が良く理解してくれたことが大きい成果につながったのだと思います。

### 成果の上がった理由

**司会** 埼玉県は歴史的にですか、啓発運動が地域に消化され易い風土なのですかね。



浦 島 治 氏

**浦島** 県民の意識が高いという点があります。埼玉県では、教育委員会、歯科医師会、学校保健会の三者が主催している、全県下の小、中学校を対象とした、「よい歯のコンクール」を実施しており、今年で32回になる実績があります。そのような、児童生徒の歯科保健状況調査活動が、この啓発推進事業の取組み、

展開に役立っていると思います。

**吉田** 関心のあるところをもってきて、三地区の関係者も熱心だったんですね。例えば大宮市のように、幼稚園の3歳児から中学生まで、その発達段階に即して、きめの細かい到達目標を作り、子供にも親にも、共通してわかるような具体的な表現で作ったことが、良い刺戟剤となりましたね。

**山西** はじめはどこから手をつけていいのかわからなかったのですが、まず小冊子を作って配布しました。それを各幼稚園、小、中学校が、極めてよく消化し、細かく生かしてくれたことが大きな成果につながったと思います。そのことは子どもから親へと、自然に気持が移って何のトラブルもなく地域へ広がっていきました。

中学校では、生徒が自分たちでシナリオ作りからはじめ、歯科保健のビデオを作りました。生徒活動としてかなりのできに感心しました。

この間、「子どもが一生懸命やっている姿が親にうつる。それが本当の啓発なんでしょうね」という話のある校長先生がしてました。それは学校の掲示板を親の方の自治会が使用していて、何のトラブルを起さないでいることを示してそういつて

ました。

**司会** ここで強調したいことは、日本学校保健会のむし歯予防啓発推進委員会が作成した、「むし歯予防のしおり」と、「歯みがき指導のしおり」がとても参考になったということですね。

これらの「しおり」は、私どもの委員会の作ですから、全国的にもっと活用されることを願っています。ところで、学校全体が良い方向へいくので、暴力だとか、いじめなどはなくなるのでは。

**山西** 文化祭、また資料づくりの日には一日中、学校にいて見ていたのですが、ビデオ作りのとき、邪魔の入らないように室の外で見張っている役目の子もいましたが、一日中頑張っている自分の持ち場を守っていました。一つのものを作ろうという使命感が、皆それぞれの持ち場で努力している姿をみて感激しました。こういう子どもたちが暴力行為をすることは私には思えませんね。

**司会** この事業も3年目に入りましたが、中間評価として、気のついた点を。

**浦島** 当初は学校の先生方は歯科保健について不勉強の気がしましたが、最近是我々歯科医もおちおちできないくらいに専門的な知識を吸収しています。そして、担任どうしが指導方法を工夫し、競い合うので、クラスが良くなる。そして学年が良くなり、学校全体が良くなる。それは歯科保健だけでなく学校教育全般に反映してきています。

P T A 活動の中にも、最近では浸透して来ており、配布された資料等が話題となっています。この事業を通じて地域の人びとのむし歯予防に対する考え方の自覚を促した点は、大きいことだと思います。

### 今後の展望について

**司会** むし歯は伝染病でもなく、直接生命にかかわるということもないのに、大きすぎすぎる、などといわれませんか。

**大島** 自分の経験からいっても、むし歯があると食事どき具合が悪い。とくに痛いのに閉口します。聞くとところによると脳の発育にも影響するといえますね。第一、いくら良い服を着たり、きれいにお化粧しても、口を開けたら歯が抜けていたり、金歯ばかりだったら幻滅ですよ。

**司会** 歯と口は、基本的には消化器官で、歯は切る、裂く、つかまえて送る、砕く、などの作用をします。また、食物を処理する食器でもあります。食器は汚れたら洗うのが常識です。単に歯の健康



だけで終るのではなく、歯の健康は全身の健康を支える要素である食生活という、基本的使命を負っているのです。

**司会** そこで、これからの抱負、また展望について。



山西 敦子氏

**山西** 私どもの地区は、もともと処置率が98%もあった地区なので、それ以上は望めないと思います。

だから、これからは予防活動に力を注いでいきたいと思います。この推進事業が予防活動の大きなステップとなったと思います。担任の教師もこんなに歯に取り組んだことはなかったと思います。子

どもも親も歯の健康の重要性を感じとってくれたことの意義は大きいですね。

私自身も母親としての立場から、幼児期からの習慣づけに取り組み、実質的な成果をあげたいと考えています。

**大島** 大人でも歯の悪いのはみっともないですね。だから、こどもには注意しています。歯のきれいな感じというのは大事なことですよ。この啓発活動から歯科保健だけでなく、教育についての理解が始まったわけで、この方面からも再認識してもらおうようにしようと思ってます。

**司会** 大島さんは大へん歯の保健の極意をマスターされています。人の顔の最大のトレードマークは口で、口に対する歯の存在の美学的な意味は、口の動に対し静の役目であり、動と静の総合的な動きとしてとらえられます。

浦島さん、歯科の専門家として、これからの要望などについてどうですか。

**浦島** 文部省の新規事業である児童、生徒等むし歯予防啓発事業が発足できたことは、素晴らしいことです。とくに幼稚園を含めて行ったことは、今後への成果につながるものです。幼稚園では若いお母さん達の質問も多く、知識を吸収しようという熱意を感じました。それは間食の与え方などの細かい点にまで及び、恐らく、今後、子どもに対する養育態度が変わると思います。こういうことが継続していくとWHOの目標DMF 3.0に少し

でも近づいていくことが期待されます。

埼玉県では、61年度から新たに三地区を指定し順次この運動を波及していき、全県下に拡大していきたいと考えています。

**司会** DMFの話がでしたが、その目標達成の可能性はどうか。

**吉田** 当初考えていた以上の成果がありました。保護者を啓発するということの要は、やっぱり学校にあります。学級担任の意識が変わってもらいたいということに尽きます。そうすると子どもが変わり、親がついていく。学校、家庭、地域の連携ということも、学校が変わっていくことにポイントがあります。

父兄の学校参観日には保護者も一緒に勉強して話合いのときには、学校歯科医もその輪の中に入って行って啓発をしてもらおう。

臨教審の岡本会長のご指摘にもあったが、戦後40年の教育の中で、最大の落ちこぼれは、基本的な生活習慣が身につけていないことだといわれています。とりわけ“いのちを大切に”ということは、基本的な生活習慣の根幹をなすものです。むし歯予防の啓発推進事業が、そうした人づくりに向っての活動であろうと思うのです。

いつも歯をきれいにする刷牙行動ができるようにするという事は、ねばり強さ、自己統制など、子どもの人間形成に作用し、教育の基本につながるものなのです。この意味から、むし歯は皆もっている。歯みがきは毎日のことだから、習慣づくりになじむ絶好の素材です。将来もこの事業を推進し、その成果を広げていくことが大切です。

**司会** これからもこの事業の輪を拡大し、その成果が普及されていくことを期待します。

## 東 俊郎先生米寿祝賀会

と き 昭和60年11月16日(土) 6:00～

ところ 東京プリンスホテル 鳳凰の間

報 告 発起人代表、順天堂大学長宮崎寛明の呼びかけに応じ、先生にゆかりの深い方700名が集り、先生のご教導に感謝し、あわせて、長寿をお祝いました。本会の関口龍雄副会長が、先生の長寿と会長としての実績を讃えて祝辞を申しあげた。



# 昭和 60 年 度 叙勲された学校保健の功労者

## 《春》

## 《秋》

### ◎学 校 医

#### <旭 五>

伊藤 五郎(長野県) 古瀬 一夫(島根県)

#### <瑞 五>

三上 重 衛(埼玉県) 渡邊 薫(静岡県)  
今井 公平(神奈川県) 森 善兵(和歌山県)  
内藤 仁(愛知県) 田島大三郎(鹿児島県)

#### <宝 六>

森田 志げ(富山県)

### ◎学校歯科医

#### <旭 五>

若松 政次(茨城県) 笠原 正文(長野県)  
露崎松五郎(千葉県) 小杉正一郎(青森県)

#### <瑞 五>

岡安 謙(石川県) 曾我 太(滋賀県)  
大塚 達郎(埼玉県) 城石 弘光(福岡県)  
杉本 茂春(大阪府) 杉森 秀雄(石川県)  
越智 幹夫(愛媛県) 児玉 ミ子(広島県)

#### <宝 六>

田中ちやう(東京都)

### ◎学校薬剤師

#### <旭 五>

望月 静雄(静岡県) 野崎 善雄(福島県)  
金指 義晴(神奈川県)

### ◎学 校 医

#### <旭 五>

駒ヶ嶺正義(青森県)

#### <瑞 五>

神坂 純次(秋田県) 北村 永一(滋賀県)  
市邊 千代(長野県) 小堀 トキ(埼玉県)  
杉田 正臣(宮崎県) 草野 興二(東京都)  
湯浅 高義(大阪府) 榎本 俊雄(和歌山県)  
河内 貞雄(千葉県) 北嶋 佐(茨城県)

#### <旭 六>

竹内 鐵哉(富山県) 神田 宗一(群馬県)

### ◎学校歯科医

#### <旭 五>

山岡 満治(埼玉県)

#### <瑞 五>

木下 勝代(長野県) 肝付 保(鹿児島県)  
林 豊(広島県) 坂野 三良(愛知県)  
飯田 嘉孝(三重県)

### ◎学校薬剤師

#### <旭 四>

山中 正一(千葉県)

#### <藍 綬>

平木 陽一(群馬県)

## 第34回 全国学校保健研究大会

## 文部大臣表彰の個人・学校・団体

### ◎学 校 医 45名

吉田 信(北海道) 後藤 三雄(北海道) 中島 達雄(岩手県) 大友 孝蔵(宮城県)  
関 信義(秋田県) 大井 清彌(山形県) 渡部 康光(福島県) 小林 存(茨城県)  
梅園 昌男(栃木県) 山下 豊(群馬県) 関本 定雄(埼玉県) 鈴木 博(千葉県)  
三浦 輝雄(東京都) 渡邊 邦繁(東京都) 塚原千代子(神奈川県) 村田 茂(神奈川県)  
田口又一郎(神奈川県) 渡邊 春枝(神奈川県) 布施 和夫(新潟県) 堀 詮之助(富山県)  
兼松 謙三(石川県) 藤田 光男(福井県) 辻 正一(愛知県) 笹尾政之輔(三重県)  
藤野 滋(滋賀県) 池田 勇(大阪府) 平井 長(兵庫県) 横山 隆(兵庫県)  
奥井 俊雄(島根県) 江川 昌男(岡山県) 川瀬 晃(広島県) 金丸 巧(広島県)



大久保新也 (徳島県) 桑島 俊之 (香川県) 福井 恭一 (福岡県) 古川 源吾 (佐賀県)  
 諸熊 武康 (長崎県) 今田 正夫 (長崎県) 山田 彰 (長崎県) 岩尾健次郎 (大分県)  
 安達 武壽 (大分県) 早田 工 (宮崎県) 八反田盛久 (宮崎県) 酒瀬川 洋 (鹿児島県)  
 神谷 栄一 (沖縄県)

## ◎学校歯科医 32名

武田 弘 (北海道) 岡野 修三 (北海道) 菊池 直良 (青森県) 千葉 榮一 (岩手県)  
 岡部 衛 (宮城県) 齋藤 義輔 (秋田県) 本間喜三郎 (福島県) 宮本市郎平 (茨城県)  
 柳田 浩司 (栃木県) 吉見東太郎 (群馬県) 野澤 榮一 (埼玉県) 今井 勇 (千葉県)  
 大塚 皓司 (東京都) 倉持 敬 (神奈川県) 貴志 淳 (神奈川県) 中島 清則 (富山県)  
 太田 正利 (岐阜県) 冨田 光男 (三重県) 中川 嘉雄 (京都府) 濱地 清哉 (大阪府)  
 細原 廣 (兵庫県) 喜多村 勝 (奈良県) 川口 吉雄 (和歌山県) 藤川 政男 (鳥取県)  
 中田 収介 (島根県) 三宅 貫一 (広島県) 町田 二男 (高知県) 小林 力 (福岡県)  
 前田 正勝 (長崎県) 加藤 正義 (長崎県) 上田 義信 (熊本県) 土持綱太郎 (宮崎県)

## ◎学校薬剤師 14名

佐藤新太郎 (岩手県) 斉藤 孝 (栃木県) 松尾 学 (東京都) 広瀬 順作 (山梨県)  
 山内 保 (静岡県) 新美 太郎 (愛知県) 北川 鉦吉 (愛知県) 山口 金治 (滋賀県)  
 川上 保 (大阪府) 樋口 幸男 (山口県) 元木 久夫 (香川県) 川田 光城 (高知県)  
 園田 福一 (福岡県) 野川 フミ (長崎県)

## ◎校 長 9名

久保沢正雄 (青森県) 黒沢 徳治 (青森県) 柳田 久男 (山形県) 細井 操 (栃木県)  
 端名 正雄 (石川県) 榊原 孝壽 (大阪府) 宮部 晃 (島根県) 川口 一夫 (福岡県)  
 具志堅興喜 (沖縄県)

## ◎養護教諭 12名

三井しな子 (群馬県) 中静 京子 (新潟県) 南部 敬子 (福井県) 川口 辰江 (山梨県)  
 高野 静子 (岐阜県) 妻形八重子 (京都府) 井尻 正美 (京都府) 郷木規久子 (岡山県)  
 國貞喜美江 (山口県) 高田喜代子 (福岡県) 飯盛 延子 (佐賀県) 鶴藪イツ子 (鹿児島県)

## ◎団体役員 1名

友田 勲 (熊本県)

## ◎学校・団体 8校・4団体

青森県十和田市立伝法寺小学校 山形県上市市立東小学校 長野県坂城町立南条小学校  
 長野県阿智村立阿智第二小学校 静岡県大須賀町立大須賀中学校 愛媛県波方町立波方小学校  
 愛媛県松山市立道後中学校 大分県大分市立明野北小学校 東京都世田谷区学校薬剤師会  
 東京都豊島区学校歯科医会 和歌山県伊都地方学校保健協会 鹿児島県与論町学校保健会

## ◎学校安全 校長 2名

木村 潔 (埼玉県) 上里 昌榮 (沖縄県)

## ◎学校安全 学校 29校

秋田県立大館商業高等学校 福島県いわき市立菊田小学校 茨城県新利根村立太田小学校  
 栃木県栃木市立吹上小学校 群馬県北橘村立橘小学校 千葉県市川市立菅野小学校  
 新潟県新潟市立山の下小学校 富山県富山市立倉垣小学校 長野県小布施町立栗ガ丘小学校  
 静岡県清水町立清水小学校 愛知県東栄町立東栄中学校 滋賀県安土町立老蘇小学校  
 京都府園部町立園部幼稚園 大阪府泉南市立樽井幼稚園 兵庫県温泉町立温泉小学校  
 奈良県奈良市立精華小学校 和歌山市立安原小学校 島根県浜田市立雲雀丘小学校  
 岡山県岡山市立芥子山幼稚園 山口県下関市立第四幼稚園 香川県豊中町立豊中中学校  
 愛媛県松山市立温泉小学校 高知県南国市立稲生小学校 福岡県苅田町立馬場小学校  
 佐賀県千代田町立千代田中学校 長崎県松浦市立大崎小学校 熊本県山鹿市立鶴城中学校  
 大分県大山町立大山小学校 宮崎県都城市立西岳中学校



## 第35回 全国学校保健研究大会

## 〈特別講演〉 わが野球人生

NHK野球解説者(元巨人軍監督) 川 上 哲 治

## 貧しかった少年時代

私は、小学校4年生から野球をはじめ、野球とともに人生を生きている。

私の少年時代は、家が小作農で貧乏だった。しかし、野球のお陰で、貧乏の辛さ、ひがみを全然感じなかった。母の日雇いで得たお金で、夕方、粟や麦を買って食べるという状態では、到底、中学校に行くことはできなかった。

## 土井先生との出会い

5・6年の時の担任が土井先生であった。この



先生のおかげで私の野球人生が展けた。

土井先生の奔走で熊本工業の野球部に道をつけていただいた。土井先生の野球練習は、厳しく、雨の時でも教室の中で50球のピッチングが課せられた。雨の時にでもやろうと思えば練習ができるという方式は、この時に私の頭に刻みこまれた。熊本工業で夏の大会に出場し、優勝戦まで残った。それが契機となって巨人にスカウトされた。おふくろを楽にさせたい一心で職業野球を選んだ。夢中で野球に人生をうちこみ、2年目に首位打者になった。昭和17年に兵隊に行き、戦後、再び巨人軍に復帰した。

## 1にも2にも練習で打撃のこつを体得

昭和25年に球をひきつけ、止った時にパチン！と打つ「球をとめる」というタイミングのこつを体得し、ゆとりをもって打てるようになった。この体験を通して、真剣にやれば大きな力が出ると思った。

## 目標達成のハングリー

たまぎわに強い力をつけ、簡単に諦めず執念をもやすのが、自分にもチームにもプラスになる。球がとれないと思ったら、自分の体を投げこむことである。かの長島のように。

困難な問題に直面したとき、諦めないで、ぎりぎりのところで強くなる。いわゆる、たまぎわの精神で当れば、必ずひらめきが出るものである。

現役をやめるとき、正力さんから梶浦老師を紹介されて、座禅をくんでこいと言われた。そこで得たことは何でもよいから壁につき当れ。真剣にやっていると壁につき当るものだが、この壁から逃げないこと。真剣になって先へ進むことが大切であるという教えをうけた。「窮して早く窮せよ。変じて通じる」である。人生豊かなり。人生を強く生きよう。たまぎわに強くなることが大切。

## 心と技が一つになったチームづくりをはじめ

特に野球の場合は、チームの協力が大切である。人間には俺がという我ががあり、調子がわるくなると人のせいにしてたりする。これが対人関係のもつれになり自滅する。私は心と技が一つになったチームプレーという野球を始めた。

選手同志の相互信頼を図りながら、一つの心になったチーム作りをはじめた。見えないところで、心と心がつながっていかないと力がくずれる。チームメイトの恩恵をチームメイトに返すことがお互いのプラスに通じる。もちつもたれつ、相互信頼ができる。お互いに切磋琢磨すると緊張感がみなぎる。かくれたところで連携プレーがつくられ、相手にプレッシャーをかけながら点とりができる。

## プロとしての「自覚」

ファンに対するお返しは、自分の技術を磨きプロ選手として100%真剣なプレーをするという「自覚」がいる。現在、子ども野球の指導をしているが、野球というスポーツを通して、チームワークを強くする精神を育てたい。抵抗なく協力し、それが価値につながることを知らせたいからである。自分の方から対手を助ける。これがチームワークにつながり、目的達成への道に通じると信じている。この大会のスローガンの「健康な活力にみちた心豊かな子どもの育成」を目指して精進していただきたい。

(文責 福原保子)



# 全体シンポジウム

主 題：子供達に、生涯を通じて健康で活力に満ちた生活を 昭和60年11月8日 長崎市民体育館  
シンポジスト

長崎県瑞穂町立西郷小学校

校 長 松 本 幸十郎

聖心女子大学文学部

教 授 岡 宏 子

熊本県医師会(熊本県立第一高等学校校医)

理 事 家 村 哲 史

座 長

長崎大学教育学部(元学部長)

教 授 西 島 宏

## 安全教育の効果的な展開をめぐる諸問題

松 本 幸十郎

### 本校の安全指導

父母、地域との連携の中で進める安全教育、交通公園の活用について紹介したい。

#### ア. 学級指導における安全指導

安全ノート、事故事例の教材化、特別な指導を要する児童への配慮、個人カルテ、等

#### イ. 学校行事における交通安全指導

交通公園利用、交通安全協力指導員の協力

#### ウ. 児童活動を中心とした交通安全活動

集団登校は毎朝、集団下校は、土曜日、交通公園に集合

#### エ. 父母、地域、関係団体との連携

1年生は入学直後、高学年は自転車教室実施安全だより発行(学期に2回)、道路環境作りの促進(カーブミラー、横断歩道、ストップマーク等)、交通安全モニターによる協力(各地区2名、計14名委嘱)

#### オ. 交通公園の活用

交通公園の広さは、1,800㎡、道路は舗装、S字、8字道路もあり、主な施設としては、信号燈、踏み切り、標識等は全て道路上にある本物である。

## 健康で活力に満ちた生活

岡 宏 子

発達の偏よりのなかの、基本的な底流のようなものの一つに、無気力、無感動、無行動といった方向に向っての行動特性形成の傾きがあるのではないかと考えられるところに、「健康で活力に満ちた生活を……」の叫びや希求、運動が生じてきていると思うのである。

ところで、現代の家庭の構造の変化による育ての作用、親の、——父及び母の意識や子への直接的な態度の変化による人間形成作用は、どんな働きを子の人間性に及ぼすことになるのか。

1. 少子化傾向による、祖父母同居の減少、核家

族化は、どんな育成機能の変化とつながっているのか。

2. かつての「嚴父慈母」は現代は、「甘父干母」のスタイルがふえた。このような親の役割りの変化は、どんな「育ての作図」を発揮するのか。

3. 社会全般にながれる、価値感、生き方目標の変化が、間接的に、上記1, 2の家庭のダイナミックスとからみあう作用。

4. 機械、道具、人工的生活空間、居住空間とものの力が、3.に加わると、育ての作用にどんな色彩をつけるか。

等々を分析、「活力にとむ子ども」を育てる方途は何なのかを検討した。

## 高校生の心と体に関する学校保健の取組み

### — 高等学校々医の立場より —

家 村 哲 史

現在の高校生年代の若者の精神的、肉体的特徴を、熊本県下高校生を対象とした調査結果を、スライドで紹介した。

カウンセリング室と健康相談室が連動連携して活動した時、生徒の心の問題に対して或はそのなやみの相談に対して解決解消の指導の効果があがるのではないだろうか。

また、現在、割に安易な気持で行われている、問題児、問題生徒の、精神衛生センター、児童相談所、教育センター、精神科医、その他の科の医師への相談や受診が問題である。

父兄や家族がその症状に気付かず、また、その病状を納得していない時に、精神科医への受診をすすめたり、上記各センターや相談所に行かせたりすることは再考を要する。家族間、家庭と学校間、本人に負い目を抱かせる異種のトラブルが噴出する。

カウンセリング室や健康相談室に勇気を出して訪れてくれた生徒は、まだ受けとめる甲斐があるが、そこに赴く勇気もなく集団の中に沈下して行くなやめる生徒を、いかに見出してやるかが、心の問題に取り組むわれわれの努力目標である。



## Q & A — 学校保健活性化のための —

**Q** 去る6月、教育改革に関する第一次答申が総理大臣に提出されました。第4節「改革の基本的考え方」の(5)に、「教育環境の人間化」があります。学校保健の立場から興味深いので、説明を願います。

**A**……………国立小児病院小児医療研究センター長(臨教審委員・指導小委員会委員) 小 林 登

人間化humanizationとは、人間らしくする事、人間の生活や活動にふさわしい状態にする事である。この考え方は、生態学的である(生態学ecology)。人間は、自からの全ての機能を、生態システムの影響の中で、発揮しながら生活しているのである。すなわち、心と体の働きのメカニズムが、円滑に作動する様に、生態システムを整えなければならない。

教育環境の人間化とは、子ども達が教育を受ける生活の場を、楽しく生きがいをもって勉強する事ができる様にする事である。教育環境は、物的なもの、自然的なもの、更に人間的なものから成り立っている。教育の荒廃の現状をみると、上述の全ての局面を人間らしくしなければならない。

物的なものを人間化するとは、校舎や施設・設備などの人工構造物を、児童・生徒ばかりでなく、教師にとっても、よろこんで学べるように、よろこんで教えられるように、人間らしくする事である。校舎は鉄筋コンクリートよりは木造の方が良いかも知れない。そして、地域文化の特徴を反映したデザインに、さらに教育の目的に応じて、大小多様な教室にするなど、色々と考えられる。子ども達が喜んで登校する学校、子ども達が大きくなって、思い出す様な学校にする事などである。

自然的なものを人間化するとは、緑豊かな校庭、生き物と接触出来るような校舎、地域の自然とふれあえるデザイン、等々などである。自然とふれあいを豊にする事である。

人間的なものを人間化するとは、子ども達の心と体の状態を見貫き、心の絆をつくれる様に、教員の資質を向上する事、子ども達の個性に応じた教育ができるような学級編成にする事、障害ある子ども達と共に学べるようにする事などである。教師は、子どもの心と体について、健康科学の目を持ち、また、子どもの人格を尊重する考えをもつ事が、教育環境の人間化のひとつの方法である。

教育の情報化において、コンピューターなどの教育機器も、利用の仕方によっては、教育環境の人間化に役立つであろう。子ども達が楽しく勉強できるような、教育メディアの開発が必要であり、また、なにをどのように機械化すれば、教師と子どものふれあいの機会を多くして、教育環境を人間化できるか、慎重に検討しなければならない。

今次、教育改革の本質は、教育環境の全ての局面を人間化しなければならない事にあるのである。



## 日本学校保健会だより

## 昭和60年度 全国学校保健協議大会

## 長崎市で開催

今年度の上記大会は、11月8日(金)(16:20～17:50)長崎市農協会館で開催され、全国各ブロックから出された協議題について協議した。

はじめに、会長代行の村瀬敏郎副会長と、文部省体育局学校保健課下宮進課長のあいさつがあり、続いて次の各氏を議長団に選出した。

|              |       |
|--------------|-------|
| 日本学校保健会常務理事  | 柿田桂   |
| 東京都学校保健会会長   | 和久井健三 |
| 長崎県学校保健会会長   | 城谷勝明  |
| 栃木県連合学校保健会会長 | 梅園昌男  |

経過の報告については、まず、下宮課長から昨年度東会長名で文部省に提出した要望事項について、各項目ごとに懇切な説明があった。

続いて昨年度研究課題等の処理について、北海道学校保健会をはじめ各県からの紙上報告の概要等をもとにした、和久井東京都学校保健会会長の報告が行われた。

今年度の協議事項については、始めに下宮課長から文部省として予想される対応の概略の説明があり、次いで各ブロックから提案された38項目のうち、本年度新しく出された下記8項目を口答発

表提案として協議を行った。

(なお、本年度の要望事項、研究課題は、38項目全体を見通して決定されたが、その内容については次号に掲載する)

## 〈本年度口答発表提案〉

- (1) 児童・生徒の心臓病、腎臓病等に関する検診体制の拡充と事後措置の具体的な対応について
- (2) 学校検尿に尿糖検査を追加する件に関する要望
- (3) 児童生徒の眼科、耳鼻科検診の強化について(2件)
- (4) 色覚異常児童・生徒のために色刷り図版が弁別しやすい教科書の発行について
- (5) 心の健康問題について学校の対応はどうあるべきか
- (6) 学校等における遊戯施設の遊具製造に、安全基準の制定を望む
- (7) 肥満傾向のみられる児童・生徒の保健指導について
- (8) 小学校における体育の教科書の作成について

◆即実務に役立つ一問一答集!!

## 養護教諭実務 質疑応答集

養護教諭実務研究会 編 ★B5・加除式・全3巻・台本定価10,000円

養護教諭の日常の執務を、学校保健情報、保健指導、救急看護、健康診断・健康相談等に分け、小学校、中学校、高等学校別に具体的な実践事例を豊富にかかげ、問答形式で解説した実務手引書。

◆多岐にわたる職務を総合的に解説!!

## 教護教諭執務 ハンドブック

文部省体育局学校保健課 監修 ★A5・加除式・全2巻・台本定価12,000円



第一法規

〈豊107〉東京都港区南青山2-11-17  
☎(03)404-2251/振替東京3-133197



発行 財日本学校保健会 東 俊 郎 〒105 東京都港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル 電話(501)37850968 振替口座東京4-98761 頒価1部100円(送料共)

# 育ちざかりのひと粒!

体力をつけ健康を保つ

## カワイ肝油ドロップ



製造発売元 河合製薬株式会社 東京都中野区新井2-51-8

一瞬の遅れが大事につながることも...  
学校内で突然循環器系や呼吸器系の発作を起し、呼吸困難に陥る生徒が多くなっています。こういう場合、対応の遅れが大事につながります。いざという時のために、保健室にO<sub>2</sub>パックを常備しておくで安心です。救急車が来るまでの応急用としてお役立てください。

だから、保健室に安心パック。

**M** ミドリ安全株式会社  
本社/東京都渋谷区広尾5-4-3 千150  
電話/東京(03)442-8271(代)

軽量で安全、操作も簡単。

### O<sub>2</sub>パックA型

- 使用時間/12分(1回限り使い捨て)
- 酸素流出量/3.0ℓ/min
- 酸素総流出量/36ℓ以上
- 重量/800g ●寸法/径90×高さ250mm

医療用具承認番号(59B) 第389号(医家及び家庭向)

標準小売価格 **8,800円**



子供の歯を考えた

## ライオンの2段植毛ハブラシ

●低学年用 ●高学年用 ●推薦 日本学校保健会

ライオンのハブラシ製品  
ライオン株式会社

清潔で安全な学校清掃管理は

教室・廊下(木床)に

体育館(木床)に

**ペンギン**  
SCシステムで!



SC  
フロアキーピング

- 塗るだけでピカピカ。
- 滑らないので安全。
- 水性タイプで清潔。



SCジム  
コンディショナー

- ウレタンコートされた木床の手入りに。(ダストコントロール)

ペンギンワックス株式会社  
大阪市東成区東中本3-10-14 千537 TEL.06 (976)1451  
札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・高松・福岡

(推薦:日本学校保健会)

※型録ご希望の方は、SCS係宛お申し込みください。

## “ふだんの予防で、元気な毎日”まず手洗い!!

### 殺菌 消毒用 シャボネット石鹸液 ヲム

日本学校保健会推せん No.632

精製ヤシ油を原料にした殺菌、消毒用石鹸液で、手洗いのあといや～な臭いが残りませんので喜んでお使いいただけます。シャボネット容器に入れ、水で7~10倍にうすめてお使いください。

サラヤ株式会社 TEL(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 TEL(03)458-1515

へ本会報は、提出金と、本会への船舶振興会助成金により作成しました